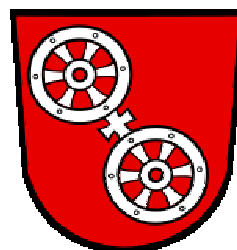


Mainz (マインツ)



マイン川とライン川の合流地点に位置するマインツは人口約20万人の都市で、ラインラント＝プファルツ州の州都になります。マインツ大聖堂はケルン、トリアーとともに三大大聖堂の一つに挙げられています。また、活版印刷の発明者ヨハネス・グーテンベルクの出身地でもあります。



1. FSV Mainz 05 (1.FSV マインツ)

ブンデスリーガ2部所属

創設年：1905年

チームカラー：赤と白

ホームスタジアム：ブルフウェグ・シュタディオン（22,000人収容）

チーム愛称：ヌル・フュンファー（05）



クラブOBでドイツ国内でも人気のある若手監督ユルゲン・クロップが指揮を執り始め、04/05シーズンには創立100年目にしてブンデスリーガ1部昇格を達成。このシーズンにはクラブ史上初のUEFAカップ出場も果たし、UEFAフェアプレー賞も受賞しました。06/07シーズンには韓国のチャ・ドゥーリーが所属。代表クラスの選手がほとんどいないにもかかわらず、クロップ監督の下、組織的なサッカーで結果を残してきました。若手育成にも定評があり、下部組織に所属する多くの選手がトップチームやサテライトへと昇格しています。

